

一般社団法人 生きづらさインクルシブデザイン工房
設立趣意書

社会的無縁（援）・孤立が広がる社会情勢の中、自身も生きづらさ 5 冠王（いじめ・不登校、家族との確執、発達障害、ひきこもり、社会参加・就労困難者）の当事者・経験者として、誰もが社会的所属先を持ち、自分らしい生き方が出来る、また生き難さをカジュアルな喫茶店でも気軽に語れる社会の実現のために、家族会等に所属し、活動してきた大橋史信は、40 歳になる節目に、志を共にする仲間と共に、一般社団法人 生きづらさインクルシブデザイン工房として、独立し新たな一歩を踏み出します。

これまで家族会等で培ってきた知見やネットワーク等を存分に活かし、今までと変わらず活動していきます。

●特に支援者（保健師、生活困窮者自立支援窓口、児童民生委員等）に対して、制度の狭間にいる社会的孤立無縁（縁）状態にいるご本人（主に青年期から壮年期）のご本人とその家族の現状、声を聴き理解してもらう機会を当事者経験者、家族と協働して創っていきます。 **【当事者理解の促進】**

●生きづらさを抱えている当事者（ご本人、ご家族）に対する正しい理解と当事者（ご本人、ご家族）が求めるサポート方法普及の促進、当事者（ご本人、ご家族共に）早期に発見し、適切な支援につなげることが出来る環境を創る活動をしていきます。 **【孤立の防止】**

●生活上の生きづらさを多様・複雑、長期化させるリスクを軽減し、自分らしい生き方が出来るようにします。 **【生き方支援】**

ひとつの組織では、多様な社会的課題は解決できません。

志を共にする多様な活動者と協働し、地域の中で自身の社会的所属先、役割等生き方を見つけることができ、誰もが生き活きとしていて、互いの顔が見える安心・安全に暮らすことの出来る地域社会の礎を作るきっかけとすべく、一般社団法人 生きづらさインクルシブデザイン工房を設立します。

令和 2 年 6 月 22 日
一般社団法人 生きづらさインクルシブデザイン工房
代表理事 大橋史信

※現在 会員は 10 名です。